

機関故障に備えましょう

過去5年間に京都府内で発生した海難170隻のうち、最も多いのは機関故障の39隻（内訳：**プレジャーボートが36隻**、漁船が1隻、遊漁船が2隻）です。



プレジャーボートの機関故障が、漁船や遊漁船と比べて多いのは何故だろう？

漁船や遊漁船の方は、機関故障を自力復旧させるトラブルシューティングに精通しているんだろうね！！



機関故障時の対応

投錨できる水深であれば、投錨して自船の安全を確保
トラブルシューティングで機関を自力で復旧

check

- マリンセーフティガイドの船内備え付け
- 海上保安庁ホームページを活用

緊急時のトラブルシューティング

検索



<http://www6.kaiho.milt.go.jp/info/trouble.html>
QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

自力復旧が困難であれば、迷わず救助を要請
海上保安庁への緊急通報用電話番号「118番」



発航前検査の徹底

発航前検査で防げた海難事例



燃料系	燃料フィルタの汚れを確認せず出港し、フィルタが詰まった。
電気系	点火プラグやセルモータの不具合を放置し、沖合で機関が始動できなくなった。
	交換時期を超過したバッテリーを使用し続けた結果、沖合で機関が始動できなくなった。
冷却水系	海水ポンプインペラを長時間交換せず使用し、インペラが破損し、機関が停止した。
軸系	クラッチオイルの量を確認せず機関を始動し、焼きついたもの。



舞鶴海上保安部

お問い合わせ

電話 0773-76-4120

